

令和4年度 主な取組予定

おかやま教育週間を中心とした各地の取組

取組名	日付	主催	取組概要	場所
文化に触れよう				
企画展「詩誌『黄薔薇』創刊70年—永瀬清子の創刊から現在まで」	9月2日(金)～11月20日(日)	赤磐市教育委員会	永瀬清子が創刊した詩誌『黄薔薇』70年の軌跡を紹介する。 https://www.city.akaiwa.lg.jp/annai/kyouikuinkai/kumayama/tenji-situ/20220902.html	赤磐市くまやまふれあいセンター
もののふの系譜～高梁を治めた武士～	9月3日(土)～11月28日(月)	高梁市歴史美術館	高梁市歴史美術館開館25周年を記念した展覧会として、備中松山藩領をはじめ現在の高梁市域を治めたさまざまな武士にまつわる刀剣や甲冑、古文書等の名品を一堂に集め、それぞれ個性を有する江戸時代の「もののふ」のあり方に注目し高梁の歴史を紹介する。 http://www.city.takahashi.lg.jp/site/takahashi-his	高梁市歴史美術館
特別展	9月17日(土)～12月18日(日)	高梁市成羽美術館	野田正明展では、渦巻き流れるようなエネルギーに満ち溢れた版画やドローイングとともに、抽象ステンレス彫刻をアメリカのみならず中国やギリシャに設置するなど、目覚ましい活躍を続ける現代芸術家野田正明の作品をご覧ください。 また流麻二果展では美術館やギャラリーでの作品発表のみならず建築空間での色彩設計やインスタレーションなど、多彩な仕事で国際的に活躍する現代アーティスト流麻二果の作品をご覧ください。 https://nariwa-museum.or.jp/	高梁市成羽美術館
〈展覧会〉岡田三郎助と佐賀ゆかりの美術 佐賀県立美術館優品選	9月28日(水)～11月6日(日)	岡山県立美術館	佐賀県立美術館は1983年に開館、同県ゆかりの近現代美術先品を収集している。明治期の日本美術史上、重要な作家と位置付けられる岡田三郎助、百武兼行、久米桂一郎らを筆頭に、古澤岩美や池田龍雄、夭折のイラストレーター野村昭嘉、注目の美術家池田学などが知られている。本展では佐賀ゆかりの作家の多彩な絵画約70点を紹介。併せて、佐賀の歴史を紹介する文物や、有田焼、鍋島更紗など伝統工芸を展覧する。 https://okayama-kenbi.info/	岡山県立美術館
和気町子ども塾	10月～11月	和気町教育委員会	①「宇宙の学校」小学生親子を対象とした学習教室。講話や実験など、宇宙について学習するのではなく、宇宙から様々なことを学習する。 ②「防災DAYキャンプ」岡山気象台・消防署・町危機管理室などから防災についての学習や段ボールベットや非常食の体験を通して防災意識を高める。 ③「赤磐市合同」赤磐市の子どもたちとの交流事業。内容については、検討中。 ④「泥団子教室」泥団子作りの体験教室を通し、左官屋さんの職業に触れる。	学び館「サエスタ」
ヒルクライムチャレンジシリーズ2022高梁吹屋ふるさと村大会第10回記念大会	10月1日(土)、2日(日)	ヒルクライムチャレンジシリーズ高梁吹屋ふるさと村大会実行委員会	自転車で坂道を上っていくタイムを競うもので約1,000人が参加する中四国最大級のヒルクライムイベント。本市は、自転車を通じたまちづくりを推進しており、このイベントを通じ、スポーツ交流人口の拡大、選手や関係者・市民等による広域交流のネットワーク化とその拡大を目指している。 https://hill-takahashi.jp/	株式会社山陽オカムラグラウンド
〈展覧会〉竹内清展	10月4日(火)～11月6日(日)	岡山県立美術館	岡山市出身の竹内清(1911～2008)は、洋画家として活躍しながら、デザインの仕事も数多く手がけ、県内の大学で長年教鞭をとって後進の育成にも尽力した。本展では、キリスト教美術に影響を受けた寒色を基調とする晩年の静謐な油彩画を中心に、多数のデッサン類、小説の挿絵やデザインなどを展覧し、戦後岡山の美術界を牽引し、県下のデザイナーの草分けであった竹内の多彩な仕事を紹介する。 https://okayama-kenbi.info/	岡山県立美術館
芳井歴史民俗資料館 第53回特別展「日本水墨画美術協会展2022公募展」	10月7日(金)～11月6日(日)	芳井歴史民俗資料館	令和5年度は井原市で雪舟サミットを開催します。そのプレイベントとして日本水墨画美術協会展2022公募展を開催いたします。広く水墨画に親しんでいただき、画聖・雪舟と井原市のゆかりを知っていただくことを目的としています。 www.city.ibara.okayama.jp/docs/2017021300222	井原市芳井歴史民俗資料館
秋の特別展「松本ひで吉展」	10月8日(土)～12月19日(月)	吉備川上ふれあい漫画美術館	「ツイッターの人気マンガ『犬と猫どっちも飼ってると毎日たのしい』で知られる漫画家松本ひで吉のふるさと岡山での初個展。デビュー作のネーム原稿から現在連載中のデジタル原画まで約50点をご紹介します。 http://www.city.takahashi.lg.jp/site/manga/	吉備川上ふれあい漫画美術館

令和4年度 主な取組予定

おかやま教育週間を中心とした各地の取組

取組名	日付	主催	取組概要	場所
文化に触れよう				
就学前子育て講座	10月19日(水)～11月18日(金)	赤磐市教育委員会	就学時健康診断の機会を利用して、就学前の子どもを持つ保護者に、子どもの心理や家庭の役割等子育てに関する学習機会を提供する。	赤磐市内8か所
第56回津山市子どもまつり「つやまプレーパーク2022」	第1回:10月22日(土) 第2回:11月6日(日)	津山市子どもまつり実行委員会	津山地域の子ども達へ「遊び」と「学び」の機会を提供する津山市子どもまつり事業として、「つやまプレーパーク2022」を開催する。	美作大学、グリーンヒルズ津山
グッド・トイひろば	10月23日(日)	高梁市教育委員会	グッド・トイに選定された木のおもちゃで遊びながら、親子や同世代、地域の人との交流を図っていく。	高梁市図書館
和気町文化祭	10月29日(土)、30日(日)	和気町教育委員会	和気町内の文化施設を活用し、町民による作品展示や舞台発表を開催する。	和気町中央公民館
生涯学習フェスティバル	11月1日(火)～3日(木)	奈義町教育委員会	町内の生涯学習教室及び幼稚園・小中学生が園内・校内生活で制作した図画工作等を文化センターで一堂に展示する。 舞踊や演奏などの発表会も11月3日に実施。(状況によっては映像発表とする。)	奈義町文化センター
第47回岡山県教職員美術展	11月2日(水)～6日(日)	岡山県教育委員会、一般財団法人岡山県教育職員互助組合	県内の美術を愛好する教職員及び退職した教職員等が創作した作品を展示・公開する。	岡山シティミュージアム
井原市文化祭	11月5日(土)、6日(日)	井原市教育委員会	様々なジャンルの作品展を行ったり、芸能大会、俳句・短歌の大会を開いたりする。	井原市民会館、婦人会館、井原駅前広場、地場産業振興センター
おかやま民俗芸能フェスティバル	11月6日(日)	岡山県民俗芸能大会実行委員会	岡山県内の貴重な民俗芸能を公開して、その価値を広く一般に周知する機会とし、民俗芸能の保存や振興、文化の交流、地域の文化振興等に役立てる。 https://www.pref.okayama.jp/soshiki/151/	久米南町文化センター
〈展覧会〉第十二回I氏賞受賞作家展	11月12日(土)～12月25日(日)	岡山県立美術館	岡山県新進美術家育成「I氏賞」受賞作家の展覧会。第11回(平成29年度)と第12回(同30年度)に「奨励賞」を受賞した江村忠彦(彫刻)、志村佳苗(絵画)、大島愛(絵画)、柳樂晃太郎(工芸)の作品と活動等を紹介する。 https://okayama-kenbi.info/	岡山県立美術館
親子で楽しむ音楽会 ～0歳児からのコンサート～	11月13日(日)	岡山県立大学	本学講堂で岡山フィルハーモニック管弦楽団による音楽会を実施する。演奏だけでなく、楽器紹介、指揮者体験、学生による手遊びパフォーマンス等も取り入れることで、乳幼児の音楽体験や親子交流、保育大学生の資質向上の機会を提供する。	岡山県立大学講堂
〈展覧会〉第69回日本伝統工芸展岡山展	11月17日(木)～12月4日(日)	岡山県立美術館	日本伝統工芸展は、優れた工芸技術の保存と今日的な活用を目的に開催される国内最大規模の公募展で、その優品(陶芸・染織・漆芸・金工・木竹工・人形・諸工芸)を展覧する。伝統工芸技術の保護・保存に対する理解を深め、健全な発展向上を図る。出品作家による列品解説会や伝統工芸に親しむワークショップも合わせてお楽しみいただきたい。同時開催「もっと伝統工芸」は、金属工芸について若手作家の作品を中心に紹介する。 https://okayama-kenbi.info/	岡山県立美術館
赤坂公民館まつり	11月19日(土)～20日(日)	赤磐市教育委員会	赤坂公民館、笹岡公民館合同で開催。それぞれの公民館グループにより日頃の学習活動の成果を発表。(舞台発表、作品展示発表、体験コーナーなど)	赤磐市立赤坂公民館
横仙歌舞伎大公演会	11月19日(土)～20日(日)	横仙歌舞伎保存会	美作地方に残る伝統芸能「横仙歌舞伎」(地歌舞伎)の発表会。3保存団体と子ども歌舞伎教室生が出演。	奈義町文化センター